

粕谷会長の観察日記より。題字の写真は、ヤブカンゾウです。八王子・高月の田んぼの畔のヤブカンゾウが咲きだしました。（7月7日）ヤブカンゾウは、春の新芽もおいしいですが、つぼみもシャキシャキして美味しいです。

# 紅葉台



# 新聞

第92号

2023年  
8月26日

発行人：関谷 孝

## めじろ台のオープンカフェ 憩いの場



7月6日（木）梅雨の晴れ間。心地よい風が吹く中、前田さん（フラダンスの先生）の紹介で出かけました。場所は、散田小学校の裏、真覚寺の近くの田野倉さん高台の家でした。めじろ台の駅からも万葉公園を目指していくことが出来ます。

紫色の素敵な洋館。庭も広くて何より見晴らしが抜群でした。遠く八王子の街や浅川が見えます。これだけの眺めはなかなかありません。気持ちが開放されます。庭には、芝が敷き詰められ薔薇やアジサイの花が植栽されていました。「珍しいアジサイ、万華鏡を植えてます。」花もパステルカラーで上品でした。（右の写真）梅の木の下が日傘になってそこにテーブルを出して食事をしました。アジサイの花が生けてありとても美しく素敵な演出です。



このような企画を考え実行するまでには、いろいろなことがあったそうです。田野倉さんが庭を開放してくださり、それを地域や様々な人たちが支えて実現しました。高齢化が進み、住民同士の交流をはかるためにも「住民主体の生活支援と集いの場」が必要になります。その推進のため生活クラブのACTが後援になりました。食材も安心なもので栄養を考え、彩もとても素敵でした。食事の味はもちろんですが目でも楽しめるようになっていて素敵でした。



近所の高齢の方やご夫婦でいらした方もいます。20人ぐらいでしょうか。初めて会うのですが、すぐに打ち解けて、ゆったりした時間が流れ楽しい喋りが最高の時間でした。皆さんのこれまでの準備を含め温かい気持ちが伝わってきました。

その後は、前田先生のフラダンス。若いお弟子さんも加わってフラダンスの解説入りで鑑賞しました。前田さんが快くひきうけてくださったのも田野倉さんが同じフラをやっている関係からと聞きました。座ってできるフラも教えてもらいました。フラは素敵な笑顔が踊りの神髄なのだそうです。だからみんな笑顔になりました。前田先生は手作りの生花の素敵な首飾りを惜しげもなく高齢者の方にかけて差し上げているのにも感激しました！この日は、包括安心センターの職員の方やバードハウス（ACT生活クラブ高尾）の方もいました。此の高尾にも憩いの場をつくらうという計画があるそうです。これから私も一緒にやっていきたいと思いました。素敵な人たちと出会って一緒に活動することは自分も幸せを分けてもらうそんな気持ちになります。



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。

これからもオープンハウスが続きます。暑い夏はお休みですが、9月からは、毎月第一水曜日、11：30から14：30分まで。食事は500円。予約をするといいようですが、気軽に来てくださいとのことでした。地域にこのような場所が出来るといいなとずっと思っていたことなのでそういう人たちがいることが何よりの収穫でした。（文責 関谷）



## 地域にベンチを！地域課題を解決する

### 初沢町会・三和町会が協力して実現！！7月6日

三和町会のHさんから、「お年寄りが増え、駅までの道のりの途中で休める場所があったらいい」といろんな声があるんです」と聞いていました。その話を聞いて何とかお役に立てないかと私も一緒に考えました。めじろ台のベンチの取り組みもそのために見学に行きました。どこ地域でも高齢者が増え、少しでも住みやすい街にしたいと頑張っている人たちがいます。「この町でずっと安心して暮らしたい」「安心安全な街にしていきたい」との思いが自治会町会長さん初め地域の皆さんの強い思いがあって実現したのが街なかベンチです。（めじろ台の街なかベンチの記事の続き。紅葉台新聞87号参照）

7月になってHさんから「ベンチが設置された」と聞いてとてもうれしく思いました。こうしたいとの話があってもそれを実現するのは大変なことです。自治会が窓口になって八王子市へ働きかけたのが良かったようです。一番は場所の確保と予算です。私有地や道路には置けません。市の土地で安全な場所があるかでしたが、駅までの途中にある空き地があったのでそこに設置をお願いしました。但し安全を考えると土台をつくるので数十万円ほどかかります。その金額にはびっくりですが確かに台風などで椅子が飛んでいったら危険です。そういう工事を含めて実現できたのは地域住民の声です。この取り組みを通して私たちの街をよくし上げていくことはとても大事なことです。自治会の



人たちのたちの願いと地道な取り組みの成果と感心しました。参考にしていきたいですね。（文責 関谷）

## 粕谷和夫の観察日記 キマダラカメムシ



6月下旬、ジュニアクラブの野鳥観察会で変わった虫を見つけたので写真を撮りました。調べてみると、キマダラカメムシでした。黄斑カメムシ、その名の通り、背中に鮮やかな黄色の斑点がたくさんあります。古い時代に日本に入ってきた外来種ですが、最近急に増えて話題になっているらしいです。